

5 ベクトル空間とその基底 (その 2) の解答例

演習 5.1 (1) $W = \{f \in C(\mathbb{R}) \mid \lim_{x \rightarrow 0} f(x) = 1\}$ とおく. $f(x) = x + 1$ とおくと $f \in W$ であるが, $\lim_{x \rightarrow 0} 2f(x) = 2$ だから, $2f \notin W$. よって W は部分ベクトル空間ではない.

(2) $W = \{f \in C(\mathbb{R}) \mid \lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = 0\}$ とおく. 任意の $f, g \in W$ と $c \in \mathbb{R}$ に対し,

$$\lim_{x \rightarrow \infty} (f + g)(x) = \lim_{x \rightarrow \infty} (f(x) + g(x)) = \lim_{x \rightarrow \infty} f(x) + \lim_{x \rightarrow \infty} g(x) = 0 + 0 = 0,$$

$$\lim_{x \rightarrow \infty} (cf)(x) = \lim_{x \rightarrow \infty} cf(x) = c \lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = c \cdot 0 = 0$$

となるから, $f + g \in W$, $cf \in W$ を得る. よって W は部分ベクトル空間である.

(3) $W = \{f \in C(\mathbb{R}) \mid \lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = \infty \text{ または } \lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = -\infty\}$ とおく. $f(x) = x$, $g(x) = -x$ とおくと, $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = \infty$, $\lim_{x \rightarrow \infty} g(x) = -\infty$ より $f, g \in W$ であるが,

$$\lim_{x \rightarrow \infty} (f + g)(x) = \lim_{x \rightarrow \infty} (f(x) + g(x)) = \lim_{x \rightarrow \infty} (x - x) = 0$$

だから, $f + g \notin W$. よって W は部分ベクトル空間ではない.

(4) $W = \{f \in C(\mathbb{R}) \mid f \text{ は有界}\}$ とおく. 任意の $f, g \in W$ と $c \in \mathbb{R}$ をとる. このとき, ある正の数 M, N が存在して $\forall x \in \mathbb{R}$ に対して $|f(x)| < M$, $|g(x)| < N$ となるから,

$$|(f + g)(x)| = |f(x) + g(x)| \leq |f(x)| + |g(x)| < M + N \quad (\forall x \in \mathbb{R}),$$

$$|(cf)(x)| = |cf(x)| = |c||f(x)| < |c|M \quad (\forall x \in \mathbb{R})$$

を得る. よって $f + g \in W$, $cf \in W$. 以上より, W は部分ベクトル空間である.

(5) 任意の $f, g \in C^1(\mathbb{R})$ をとる. このとき f, g が \mathbb{R} で連続なので $f + g$ も連続である. また, f', g' が \mathbb{R} で連続なので, $(f + g)' = f' + g'$ も連続である. 従って, $f + g$ は \mathbb{R} で連続的微分可能であるので, $f + g \in C^1(\mathbb{R})$. さらに, 任意の $c \in \mathbb{R}$ をとると, f の連続性から cf の連続性もいえて, $(cf)' = cf'$ と f' の連続性により $(cf)'$ の連続性も分かる. よって cf も \mathbb{R} で連続的微分可能なので, $cf \in C^1(\mathbb{R})$. 以上より, $C^1(\mathbb{R})$ は部分ベクトル空間である.

注意 1. 演習 5.1 (3) の説明で「 $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = \infty$, $\lim_{x \rightarrow \infty} g(x) = -\infty$ のとき, $\lim_{x \rightarrow \infty} (f(x) + g(x))$ は ∞ でも $-\infty$ でもない」と書いている人が何人かいたのですが, これは一般論としては正しくありません (例えば $f(x) = 2x$, $g(x) = -x$ のとき).

演習 5.2 (1) 任意の $f, g \in W$ と $c \in \mathbb{R}$ をとる. このとき $x^2 f''(x) - x f'(x) = 0$, $x^2 g''(x) - x g'(x) = 0$ より,

$$\begin{aligned}x^2(f+g)''(x) - x(f+g)'(x) &= x^2 f''(x) + x^2 g''(x) - x f'(x) - x g'(x) \\ &= (x^2 f''(x) - x f'(x)) + (x^2 g''(x) - x g'(x)) = 0, \\ x^2(cf)''(x) - x(cf)'(x) &= cx^2 f''(x) - cx f'(x) = c(x^2 f''(x) - x f'(x)) = 0.\end{aligned}$$

従って, $f+g \in W$, $cf \in W$. 以上より, W は部分ベクトル空間である.

(2) 任意の $f(x) = c_0 + c_1 x + c_2 x^2 + c_3 x^3 \in \mathbb{R}[x]_3$ をとると,

$$x^2 f''(x) - x f'(x) = -c_1 x + 3c_3 x^2$$

となるから,

$$f \in W \Leftrightarrow x^2 f''(x) - x f'(x) = 0 \Leftrightarrow c_1 = 0, \quad c_3 = 0.$$

これにより $W = \langle 1, x^2 \rangle$ を得る. また, $a, b \in \mathbb{R}$, $a + bx^2 = 0$ となるのは $a = b = 0$ のときのみだから, $1, x^2$ は線形独立である. 以上より, $1, x^2$ は W の基底である.